【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成28年1月21日(2016.1.21)

【公開番号】特開2014-109619(P2014-109619A)
【公開日】平成26年6月12日(2014.6.12)
【年通号数】公開・登録公報2014-031
【出願番号】特願2012-262773(P2012-262773)
【国際特許分類】
*Ｇ０９Ｇ　3/36　(2006.01)*
*Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)*
*Ｇ０９Ｇ　3/34　(2006.01)*
*Ｇ０２Ｆ　1/133　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｇ　3/36
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２１Ｅ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６４２Ｅ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６１２Ｕ
Ｇ０９Ｇ　3/34　Ｊ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６６０Ｃ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６１１Ａ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６４２Ｃ
Ｇ０２Ｆ　1/133　５３５
Ｇ０２Ｆ　1/133　５７５

【手続補正書】
【提出日】平成27年11月25日(2015.11.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
画面に画像を表示する表示手段と、
前記画面を分割した複数の分割領域に対応し、個別に発光輝度を制御可能な複数の発光手段と、
各分割領域に表示される画像に基づいて、対応する前記発光手段の発光輝度を制御する制御手段と、
を備え、
前記制御手段は、
原画像を表示する場合に、各分割領域に表示される原画像の部分に基づいて、対応する前記発光手段の発光輝度を決定して、前記発光手段の発光輝度を制御し、かつ、
原画像を拡大した拡大画像を表示する場合に、前記拡大画像が表示される各分割領域に対応する前記発光手段の発光輝度と、各分割領域に表示される拡大画像の部分に対応する原画像の部分に基づいて決定される発光輝度と、の差が低減されるように、前記発光手段の発光輝度を制御する
ことを特徴とする表示装置。
【請求項２】
各分割領域に表示される拡大画像の部分の特徴量である第１特徴量を取得し、各分割領

域に表示される原画像の部分の特徴量である第２特徴量を取得する取得手段をさらに有し、
　前記制御手段は、
　前記分割領域毎に、前記第１特徴量と、その分割領域に表示される拡大画像の部分に対応する原画像の部分の少なくとも一部が表示される分割領域の前記第２特徴量と、の差が低減されるように、前記第１特徴量を補正する補正処理を行い、前記分割領域毎に、前記分割領域毎の前記補正処理後の第１特徴量に基づいて、前記発光手段の発光輝度を制御する
ことを特徴とする請求項１に記載の表示装置。
【請求項３】
　前記補正処理は、前記分割領域の第１特徴量を、当該分割領域に表示される拡大画像に対応する部分の原画像の全部が表示される分割領域の第２特徴量に置き換える処理を含むことを特徴とする請求項２に記載の表示装置。
【請求項４】
　前記第１特徴量を前記第２特徴量に置き換える処理は、第２特徴量より小さい第１特徴量を当該第２特徴量に置き換える処理、第２特徴量より大きい第１特徴量を当該第２特徴量に置き換える処理、又は、その両方である
ことを特徴とする請求項３に記載の表示装置。
【請求項５】
　前記補正処理は、前記分割領域の第１特徴量を、当該分割領域に表示される拡大画像に対応する部分の原画像の一部が表示される複数の分割領域の第２特徴量の最小値から最大値までの特徴量範囲内の値に補正する処理を含む
ことを特徴とする請求項２～４のいずれか１項に記載の表示装置。
【請求項６】
　前記特徴量範囲内の値に第１特徴量を補正する処理は、前記特徴量範囲の最小値より小さい第１特徴量を当該最小値に置き換える処理、前記特徴量範囲の最大値より大きい第１特徴量を当該最大値に置き換える処理、又は、その両方である
ことを特徴とする請求項５に記載の表示装置。
【請求項７】
　画面に画像を表示する表示手段と、前記画面を分割した複数の分割領域に対応し、個別に発光輝度を制御可能な複数の発光手段と、を備える表示装置の制御方法であって、
　各分割領域に表示される画像に基づいて、対応する前記発光手段の発光輝度を制御する制御ステップを有し、
　前記制御ステップでは、
　原画像を表示する場合に、各分割領域に表示される原画像の部分に基づいて、対応する前記発光手段の発光輝度を決定して、前記発光手段の発光輝度が制御され、かつ、
　原画像を拡大した拡大画像を表示する場合に、前記拡大画像が表示される各分割領域に対応する前記発光手段の発光輝度と、各分割領域に表示される拡大画像の部分に対応する原画像の部分に基づいて決定される発光輝度と、の差が低減されるように、前記発光手段の発光輝度が制御される
ことを特徴とする表示装置の制御方法。
【請求項８】
　各分割領域に表示される拡大画像の部分の特徴量である第１特徴量を取得し、各分割領域に表示される原画像の部分の特徴量である第２特徴量を取得する取得ステップをさらに有し、
　前記制御ステップでは、
　前記分割領域毎に、前記第１特徴量と、その分割領域に表示される拡大画像の部分に対応する原画像の部分の少なくとも一部が表示される分割領域の前記第２特徴量と、の差が低減されるように、前記第１特徴量を補正する補正処理を行い、前記分割領域毎に、前記分割領域毎の前記補正処理後の第１特徴量に基づいて、前記発光手段の発光輝度が制御さ

れる
ことを特徴とする請求項７に記載の表示装置の制御方法。
【請求項９】
前記補正処理は、前記分割領域の第１特徴量を、当該分割領域に表示される拡大画像に対応する部分の原画像の全部が表示される分割領域の第２特徴量に置き換える処理を含む
ことを特徴とする請求項８に記載の表示装置の制御方法。
【請求項１０】
前記第１特徴量を前記第２特徴量に置き換える処理は、第２特徴量より小さい第１特徴量を当該第２特徴量に置き換える処理、第２特徴量より大きい第１特徴量を当該第２特徴量に置き換える処理、又は、その両方である
ことを特徴とする請求項９に記載の表示装置の制御方法。
【請求項１１】
前記補正処理は、前記分割領域の第１特徴量を、当該分割領域に表示される拡大画像に対応する部分の原画像の一部が表示される複数の分割領域の第２特徴量の最小値から最大値までの特徴量範囲内の値に補正する処理を含む
ことを特徴とする請求項８～１０のいずれか１項に記載の表示装置の制御方法。
【請求項１２】
前記特徴量範囲内の値に第１特徴量を補正する処理は、前記特徴量範囲の最小値より小さい第１特徴量を当該最小値に置き換える処理、前記特徴量範囲の最大値より大きい第１特徴量を当該最大値に置き換える処理、又は、その両方である
ことを特徴とする請求項１１に記載の表示装置の制御方法。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
本発明の表示装置は、
画面に画像を表示する表示手段と、
前記画面を分割した複数の分割領域に対応し、個別に発光輝度を制御可能な複数の発光手段と、
各分割領域に表示される画像に基づいて、対応する前記発光手段の発光輝度を制御する制御手段と、
を備え、
前記制御手段は、
原画像を表示する場合に、各分割領域に表示される原画像の部分に基づいて、対応する前記発光手段の発光輝度を決定して、前記発光手段の発光輝度を制御し、かつ、
原画像を拡大した拡大画像を表示する場合に、前記拡大画像が表示される各分割領域に対応する前記発光手段の発光輝度と、各分割領域に表示される拡大画像の部分に対応する原画像の部分に基づいて決定される発光輝度と、の差が低減されるように、前記発光手段の発光輝度を制御する
ことを特徴とする。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】

本発明の制御装置の制御方法は、
画面に画像を表示する表示手段と、前記画面を分割した複数の分割領域に対応し、個別に発光輝度を制御可能な複数の発光手段と、を備える表示装置の制御方法であって、
各分割領域に表示される画像に基づいて、対応する前記発光手段の発光輝度を制御する制御ステップを有し、
前記制御ステップでは、
原画像を表示する場合に、各分割領域に表示される原画像の部分に基づいて、対応する前記発光手段の発光輝度を決定して、前記発光手段の発光輝度が制御され、かつ、
原画像を拡大した拡大画像を表示する場合に、前記拡大画像が表示される各分割領域に対応する前記発光手段の発光輝度と、各分割領域に表示される拡大画像の部分に対応する原画像の部分に基づいて決定される発光輝度と、の差が低減されるように、前記発光手段の発光輝度が制御される
ことを特徴とする。